



志摩市観光協会 ニュースレター

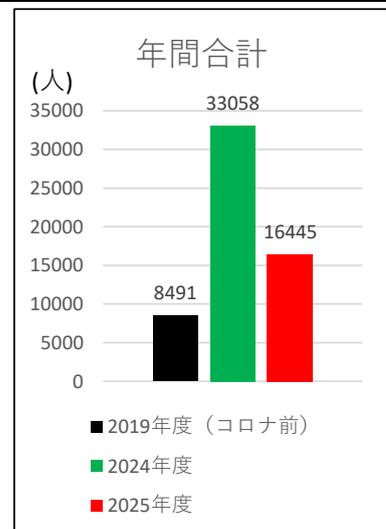
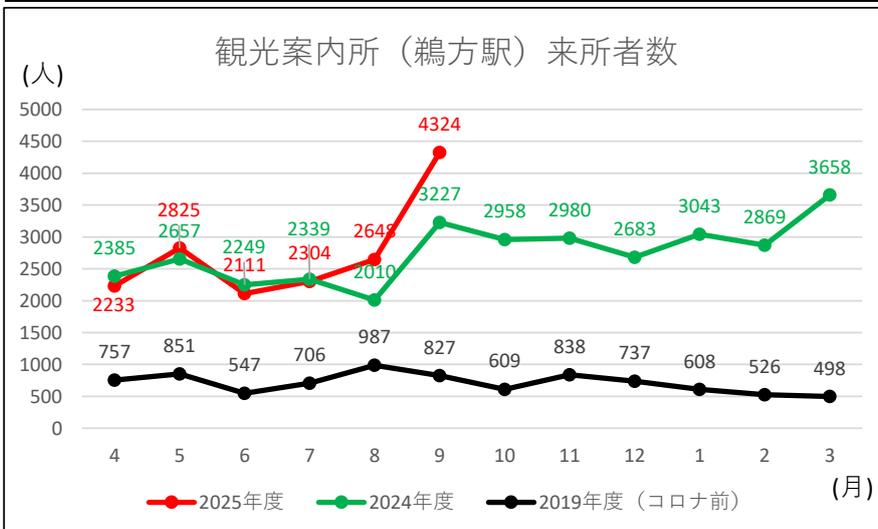
こんにちは。とうとう（やっと）関西万博が終わりました。184日間で2,500万人以上の来場者ということで、特に9月に入ってからの「かけこみ万博」はすごい勢いだったようですね。中の人（筆者）も何度か行きましたが、行ってみると「もう一回来ないと」となり、結果7回を数えることとなりました。大きな理由はただ単に回り切れないからということで、パビリオンの予約がほとんど取れず長時間並ばないと入れないのはまだいい方で、完全予約制を謳い、並ぶこともできないパビリオンもあったため、結局終わった今も不完全燃焼なのであります。20年前の愛知万博は2200万人、55年前の大阪万博に至っては6400万人で一日で60万人が来場した日（関西万博の最高記録は22万人）もあったとのこと、当時は予約システムなどなかったでしょうから制御が効かず、阿鼻叫喚の世界だったのかも知れません。関西万博においては輸送能力などを考慮して入場者数を制御していたので、中に入りさえすれば「楽しい万博」を体感できたのかも知れません。

いよいよこれからの正念場。我々にとって本当の万博が来るのか？つまり「万博の次は三重へ、伊勢志摩へ」という仕掛けを県も市も力を入れて取り組んできましたが、その波こそが「我々にとっての万博」であり、その効果に期待をしつつ、待つだけではなく引き続きの取り組みが重要になるものと捉えております。

観光協会としましては、この上期は数値的にも決して良いとは言えない状況（昨年の反動減もあります）でしたので、これからの下期で挽回を図るべく取組を推進して参る所存です。引き続きのご支援をよろしくお願い申し上げます。

【観光案内所（鵜方駅）来所者数】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計(人)
2025年度	2,233	2,825	2,111	2,304	2,648	4,324	0	0	0	0	0	0	16,445
2024年度	2,385	2,657	2,249	2,339	2,010	3,227	2,958	2,980	2,683	3,043	2,869	3,658	33,058
2019年度	757	851	547	706	987	827	609	838	737	608	526	498	8,491

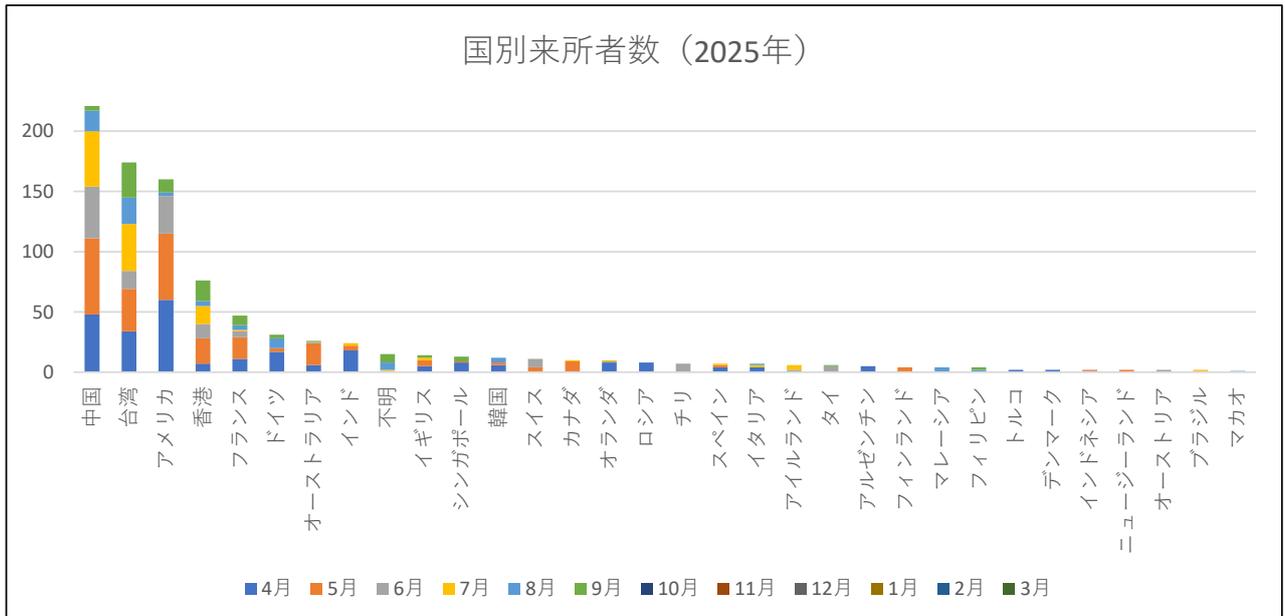
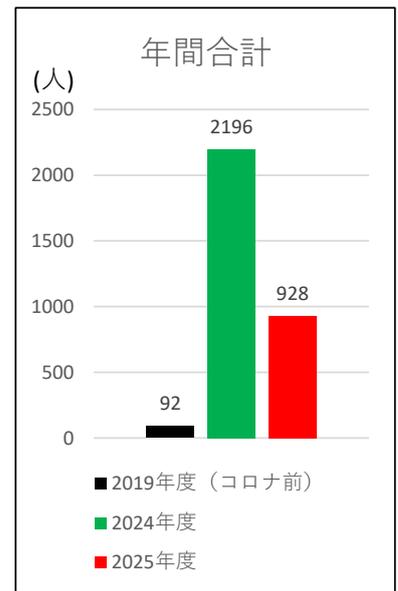
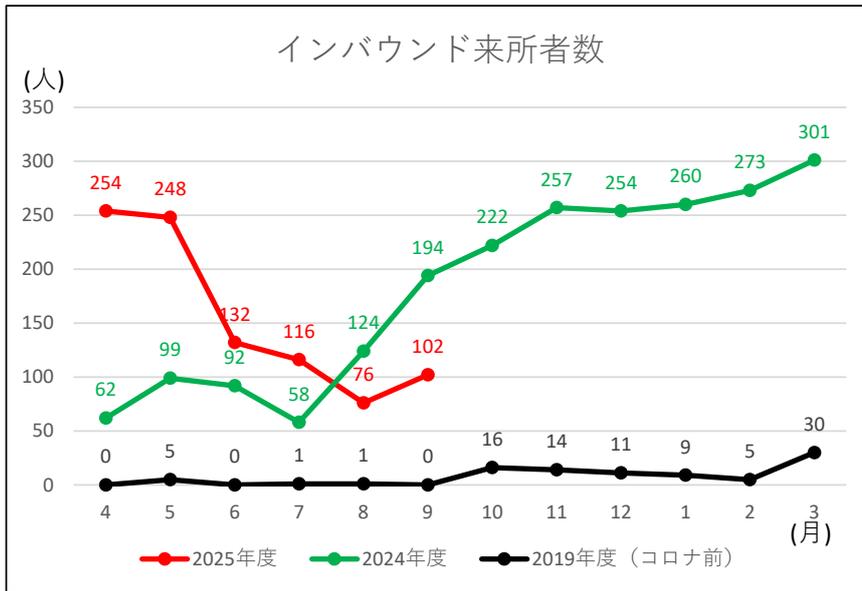


9月の来所者数は先月より大きくジャンプアップの約1,100人増加となりました。これは当案内所が「アイドルマスター」のラリーポイントとしてノベルティの引換所として協力（9/13～10/13まで）していたことによるもので、9/30までの引換数は1,405に達していましたので、その分を差し引くと前年よりマイナスと

ということになります。昨年は「ポケモン特需」、今年は「アイドルマスター特需」と捉えればいいのですが、昨年は手荷物預りが大幅に増加するも、今年はそれほどの効果はありません。おそらく今年は志摩スペイン村（こちらではアイドルマスターの限定グッズ販売など）からの帰りに立ち寄られた方が多く、そういったご利用につながらなかったのではないかと捉えております。

※うちインバウンドの来所者数

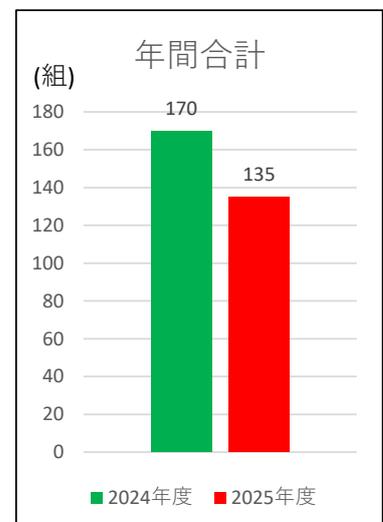
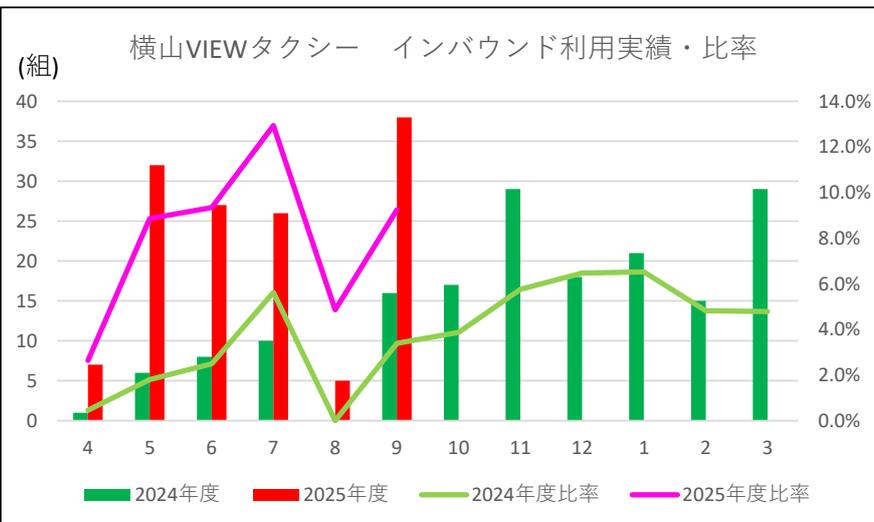
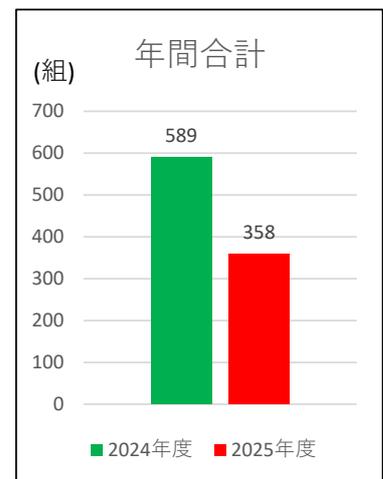
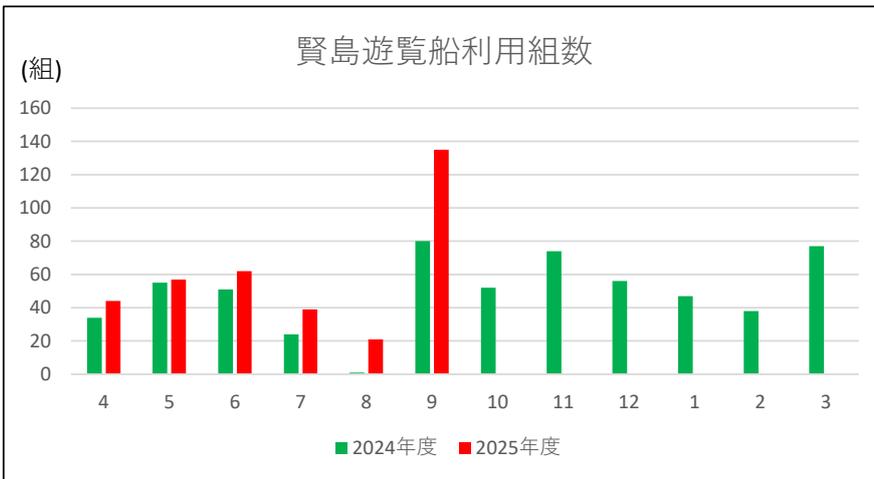
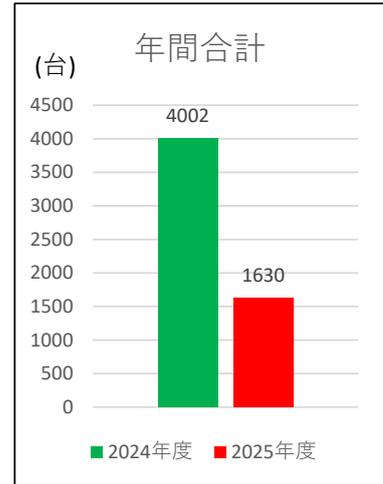
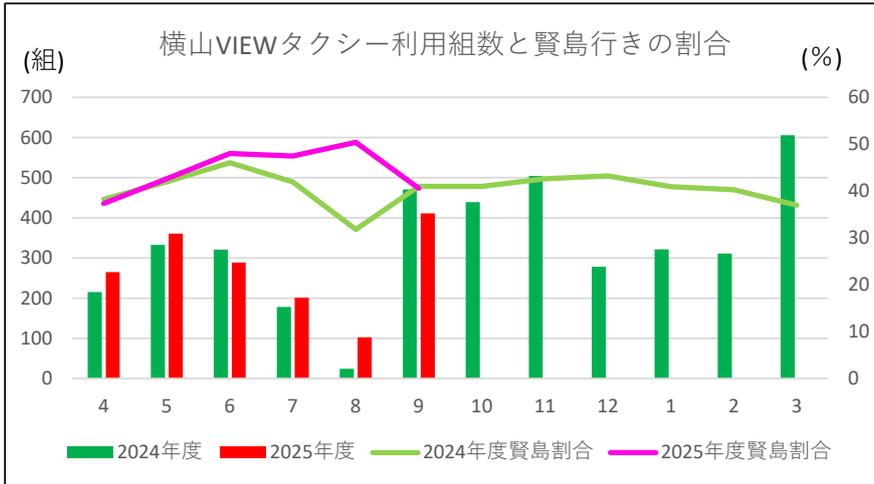
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計(人)
2025年度	254	248	132	116	76	102	0	0	0	0	0	0	928
2024年度	62	99	92	58	124	194	222	257	254	260	273	301	2196
2019年度	0	5	0	1	1	0	16	14	11	9	5	30	92



9月は上昇に転じました。国別では台湾が29人で、中国と香港が17人でした。アメリカは11人でこの7月以降はそれまでの傾向とは打って変わって低水準が続いています。この事については6月中旬まで従事していた案内所多言語対応スタッフが積極的に欧米人に声掛け（待合室にいる欧米人を案内所に招き入れることも多かった）していたことも少なからず影響していたのではないかと考えております。

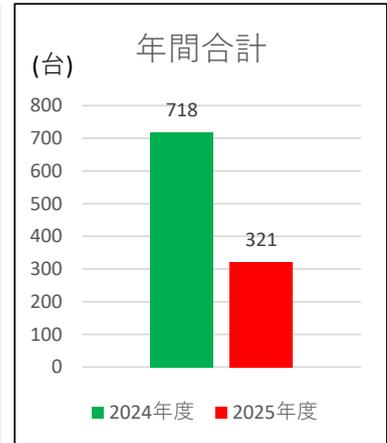
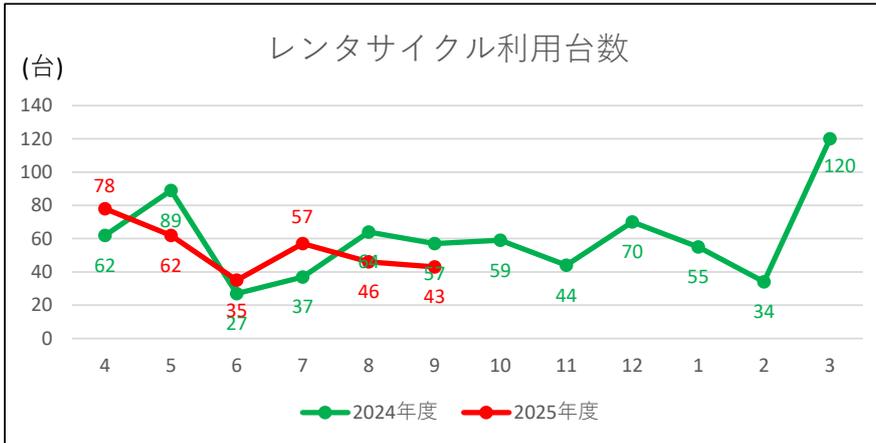
【横山VIEWタクシー】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計(台)
2025年度	265	361	289	201	103	411	0	0	0	0	0	0	1630
2024年度	215	333	321	178	24	471	439	504	278	322	311	606	4002



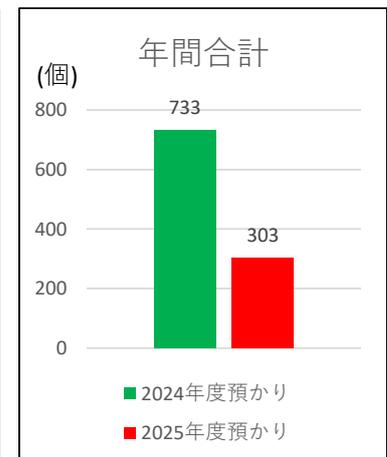
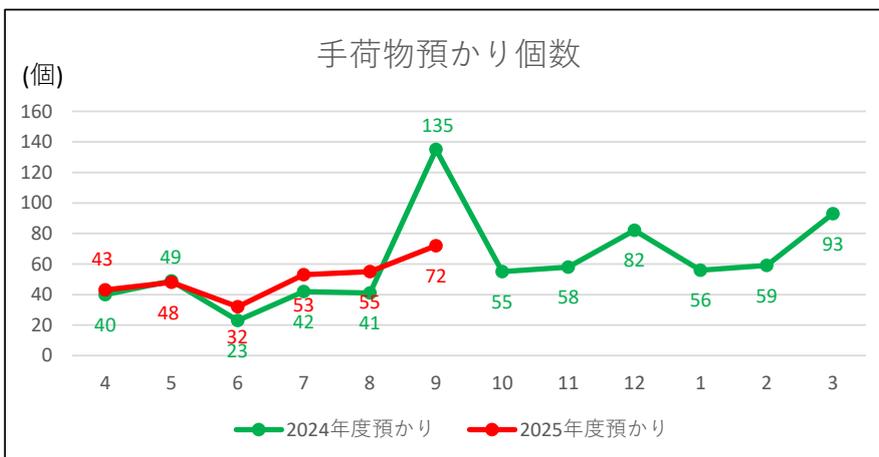
9月は前年を60組下回る結果でした。やはり昨年のポケモンの反動減と捉えております。しかしながらインバウンドは大幅に増え、今年度一番のご利用(38組)になりました。すでに上半期で昨年年間実績の8割に迫る勢いで、インバウンド(FIT客)への周知が地道に広がってきているものと思われます。復路賢島への利用率は平均値である40%に落ち着きましたが、遊覧船はこちらも今年度最高の135組を記録しました。

【レンタサイクル】



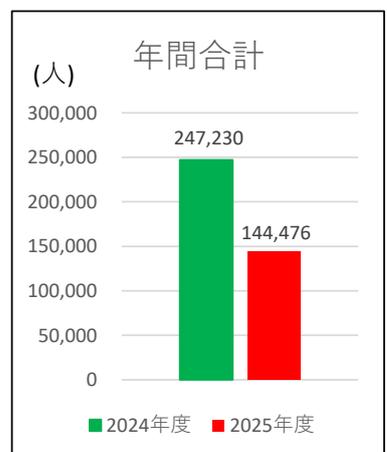
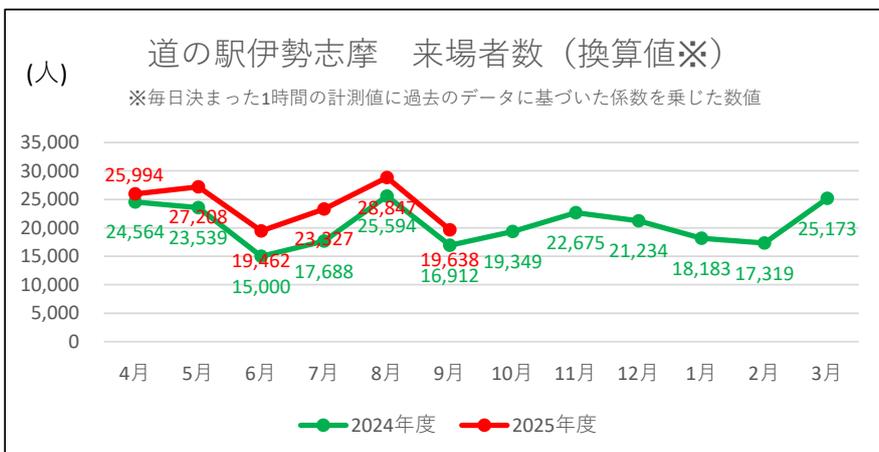
9月も先月より3名減で減少傾向が続いています。前年比からもマイナスでした。酷暑の影響が今月も続いたものと捉えております。9/30から近鉄によるシェアサイクル事業が本格的にスタートし、鵜方駅にもポートが設置されますので、今後はその影響が出てくるものと危惧しております。

【手荷物】



9月も昨年のポケモン特需ほどではないにしろ、上昇傾向が続いております。先述した「アイドルマスター」目的の方が朝に荷物を預けて志摩スペイン村に向かわれる方の需要に応えられていたようです。

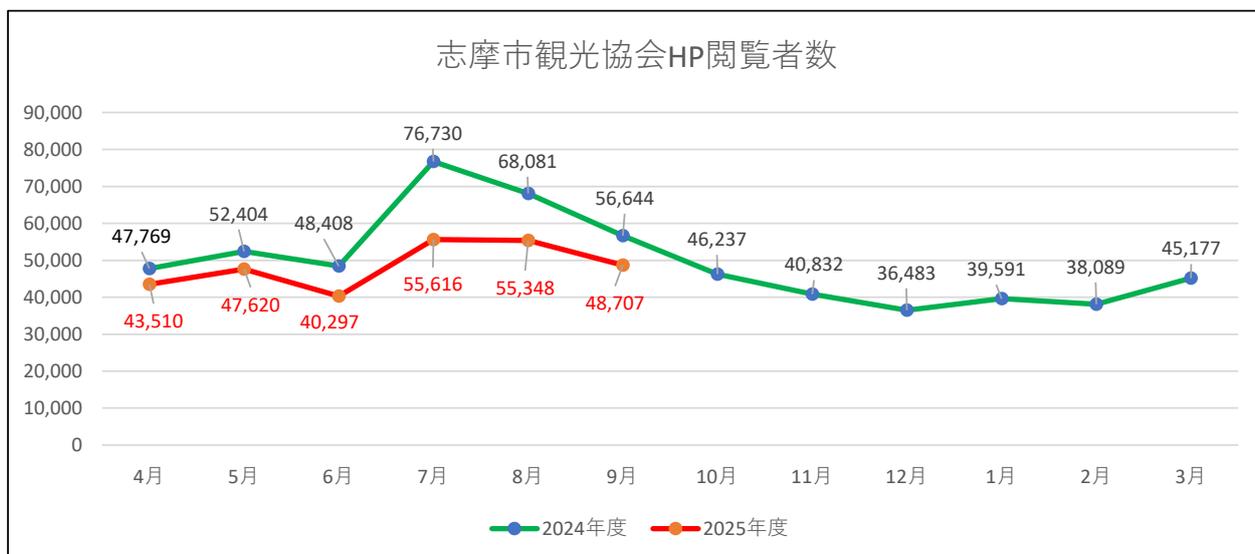
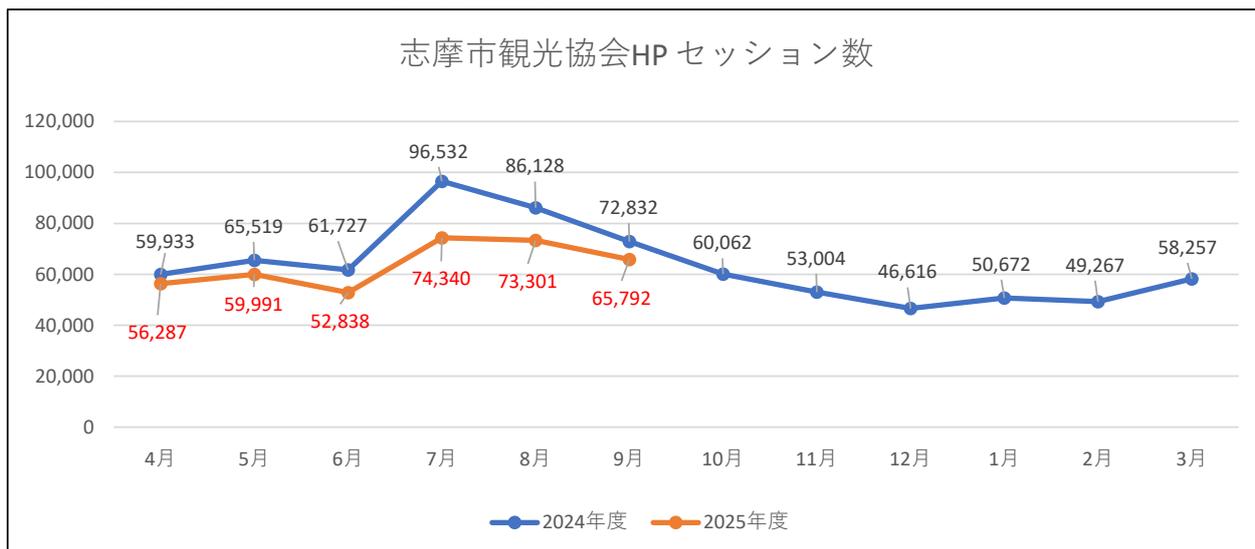
【道の駅伊勢志摩】



9月も堅調で、おうむ石トンネルが開通した4月以降、前年の実績を数千人上回る形で推移しています。10～11月は観光農園が開園するなど来駅機会が高まるシーズンに突入しますので、前年同様上昇傾向になっていくものと捉えております。

【ホームページ】

●志摩市観光協会HPセッション数・閲覧者数



●志摩市観光協会HP イベント紹介ページ表示回数ランキング（2025年9月）

1	大王埼 わらじ祭り 2025	11	志摩市のイベント情報 ～季節のお楽しみ一覧～
2	ええじゃんか祭り 第30回 【阿児アリーナ】	12	コスモス・紅葉コキア開園（2024） 【志摩市観光農園】
3	オータムフェスタ in Shima 【阿児アリーナ】	13	伊勢・鳥羽・志摩をアイドルと巡る 旅、『THE ISE-SHIM@STER』
4	ええじゃんか祭り（第29回） 【阿児アリーナ】	14	きらりんMARCHE 9月28日開催！
5	わらじ祭り 2024	15	安乗の人形芝居（令和6年）
6	志摩パールブリッジ・ライトアップ イベントを実施します！	16	「AGO BAY BLUE PASS」英虞湾周 遊クルーズ

7	三重県民・志摩市民限定のお得なプランが登場！【NEMU RESORT】	17	La Festa Primavera 2025（ラ フェスタ プリマベラ 2025）
8	安乗の人形芝居（令和7年）	18	開業30周年記念特別プラン【賢島宝生苑】
9	「志摩にしました。」キャンペーンスタート！	19	安乗埼灯台町歩き トワイライトツアー開催！
10	『ミジュマルルーム』が登場！【NEMU RESORT】	20	伊勢志摩ツーデーウオーク 第13回

2025年9月の志摩市観光協会ホームページのセッション数は65,792回、閲覧者数は48,707名となりました。前年同月と比較すると、セッション数は9.6%減、閲覧者数は14%減となっています。

この減少の背景には、前年6月～9月に実施された「ポケモンとのSPコラボイベント（志摩スペイン村）」の影響が大きかったと考えられます。

9月のイベント紹介ページでは、14日に開催された「大王埼 わらじ祭り 2025」の記事が最も閲覧されました。続いて、「ええじゃんか祭り 第30回【阿児アリーナ】」「オータムフェスタ in Shima【阿児アリーナ】」「ええじゃんか祭り（第29回）【阿児アリーナ】」が上位にランクインしています。

地元のお祭りに関するページの閲覧が多く、地域に根ざしたイベントへの関心が高いことがうかがえます。

特に、家族連れや地域住民の来訪を後押しする情報として、多くの方にご覧いただいた結果と考えられます。

10月は、爽やかな秋空が広がり、観光に最適な季節となります。志摩では、紅葉や秋の味覚を楽しめるグルメ体験に加え、離島めぐりやマリナクティビティなど自然を満喫できるプログラムも充実しています。家族連れやグループ旅行のお客様にとって魅力あふれる季節であり、こうした志摩ならではの楽しみ方を積極的に発信し、来訪意欲の向上につなげてまいります。



スタンプラリー花盛り ～やっぱりみんな紙が好き？～

観光誘客の一つの手段として「（デジタル）スタンプラリー」を実施しているところが多くなり、今では例えば道の駅やサービスエリアなどで、ラリーのポスターが掲示されていないところはないくらいメジャーな「手段」となっています。私どもの案内所においてもそういったラリーポイントの協力要請が増えてきており、このニューズレターのそれぞれの実績のコメントの中で、「ラリーポイントに協力していることで数値が伸びた」といったことを書く機会が増えてきました。

ではなぜ今スタンプラリーが花盛りなのでしょう？それは「集める」「コレクションする」という人間が持つ「欲」の琴線に触れるからではないでしょうか。「集める」という欲は多かれ少なかれ誰もが持つものであり、みなさんも例えば子供の頃に切手やシール、メンコ、消しゴム、といったものを集めた経験があると思います。成長するにつれ「集める」という興味が薄れていく人と、さらにパワーアップして「マニア化」していく人に分かれていき、人類の半分は何らかのコレクターであるというのが私の持論です。

観光地などで周遊を促進するスタンプラリーはまさにその琴線に触れるものであり、「集めたい」という要素を如何に取り入れるかで、来訪者を増やすことや普段は見向きもされない観光地にも人を呼び込む強力な手段となるのです。

【スタンプラリーの歴史】

スタンプラリーの起源は室町時代までさかのぼり、いわゆる札所巡り（四国八十八カ所や西国三十三カ所）でご朱印を納経帳（朱印帳）に集めるという行為がそれにあたるとされています。（かくいう私も小学生のくせにご朱印帳を抱えてお寺めぐりをするという変な子供でした...）

近代に入りスタンプ集めがメジャー化したのは1970年の大阪万博で、各パビリオンのスタンプをスタンプ帳に押し集めるというのが人気だったようです。（かくいう私も今や記憶も定かではないですが、自分で押し集めたスタンプ帳を宝物のように大事にして何回も眺めていたという変な子供でした...しかもそれらの国に本当に旅行したと小学生になるまで思い込んでいました。）

その後当時の国鉄が全国の駅にスタンプを設置し専用のスタンプ帳を発売したことで、全国の鉄道ファンや旅行好きに火がつかます。旅の思い出に集めるだけでなく、スタンプを集めることを目的に旅行をする人も出始めていきます。（かくいう私もスタンプを集めるために大阪から岡山までなどスタンプのある駅を乗り降りしながら日帰り旅行をした変な中学生でした...）



神社のご朱印で。寺のご朱印とは違いシンプル



駅のスタンプ。キャンペーンやエリアごとで統一感のあるデザイン。ちなみにスタンプを集める鉄道マニアを「押し鉄」と言います

【参加したくなるスタンプラリーとは？】

今では巷に溢れているスタンプラリーですが、ただ単に来てほしい観光施設にスタンプを置くだけではなかなか参加してもらえません。では何が必要なのでしょう？高価なプレゼントが当たる？それもあるに越したことはありませんが、それ以上に重要なのは、

- ①スタンプのデザイン
- ②コンプリート出来そうな程度のポイント数
- ③残したくなるスタンプ帳（台紙）

の3つだと思います。

①スタンプのデザインで重要なのは「統一感」です。これこそが収集欲を掻き立てる要素であり、これがないとコンプリートしたいという意欲が薄らぎます。切手やカードなど決められた枠（フレーム）の中でデザインされているからこそいろいろなデザインを集めたいという欲求が湧き出るのであり、スタンプも同じなのです。

②コンプリート出来そうな程度のポイント数というのは、これもコレクター心理をくすぐる要素として非常に重要であり、はじめから無理だと判断されると参加しないか途中で離脱してしまうのです。ただその程度は人によって違いますので一概には言えませんが、例えば市内の主な観光地などを巡らせるラリーなら2日間で回りきれ数（5～10カ所）で、ある程度の期間を設定してリピートを促したり広範囲を巡らせるのであれば数十カ所（例：万博やエリア別の道の駅ラリーなど）、期間を定めず自分のペースで巡ることができるのであれば、それこそ全国レベル（例：ダムカードやマンホールカード、道の駅記念きっぷなど対象数が数千に及ぶもの）といった感じになります。

③残したくなるスタンプ帳（台紙）も非常に重要で、きれいに配列されたページ（台紙）があると埋めたいという衝動に駆られるという訳です。ポイントごとに押し位置が決まっていたり施設の説明が書かれてあったりすると、自分への旅の記念にもなり、それを自分の手で完成させるという目的や達成した時の満足感も生まれ、参加率も上がるのです。

【関西万博スタンプラリーに見る周遊促進効果】

先日閉幕した大阪関西万博。今回の万博でもスタンプラリーが実施されていたのはご存じでしょうか？1970年の大阪万博以来、つくば科学万博や愛知万博でも実は実施されていたようで、関西万博では実に200カ所以上のポイントが設けられ、それ以外でも期間限定スタンプなども数多く設置され、多くの来場者はスタンプ帳片手にパビリオンを回り、スタンプの列に並ぶといったシーンが見られました。公式スタンプ帳はパスポートに見立てた72ページの手に収まるサイズのもので、一説によると100万冊も売れたとのこと（公式ショップでは常に上位の売上だったそうです）。それもそのはず、このラリーは先にふれた重要な3要素がたっぷり盛り込まれているのです。万博らしく「パスポート」とネーミングされたスタンプ帳、埋めたくなるページのレイアウト、本物のパスポートに押されるような査証スタンプをイメージしたスタンプのデザイン、そして挑戦心を駆り立てられるポイント数（ちょっと無理めですが...）と魅力に溢れているのです。



関西万博は184日間で約2,558万人の来場者数となりましたが、100万人がスタンプ帳を買っていて、その人たちの一部はコンプリートを目指して何度もリピート入場している訳ですが（かくいう私も7回！）、仮にスタンプ帳を買った人全員の平均来場数を5回とすると500万人となり、このスタンプ帳がなかったらこれらの人たちはリピートしていなかったとすると、実に400万人分はスタンプラリーがあったおかげで上乗せされた人数となります。それを差し引くと実質の来場者は2,150万人程度であったということで、運営費が黒字で賄えたというのもスタンプラリーのおかげであったという推測も成り立ちます。恐るべし、スタンプラリー！

さらにこれだけの効果をもたらした最大の要素としては「デジタルではなく紙であった」ということです。スタンプは「押す」という行為が楽しみの一つであり、デジタルにはないものです。押し方ひとつでスタンプの写り方もさまざまで、自分で押したという実感を感じ取ることができ、そしてコンプリートに向けて作り上げていく過程を形として見ながら楽しむことができるというのがスタンプ帳の最大の魅力なのです。実際、関西万博では並行してデジタルのスタンプラリーもやっていましたが、見ているとデジタルのQRコードをスマホで読み取る人は10人中1~2人でした。スタンプ帳を持っている人の中には子供や高齢の方も多く、煩わしい操作も不要で「紙にポンと押す」という誰でも気軽に楽しめ、子供も喜ぶ「押すと図柄が出てくる」スタンプは年齢のハードルもなく老若男女が楽しめるのです。

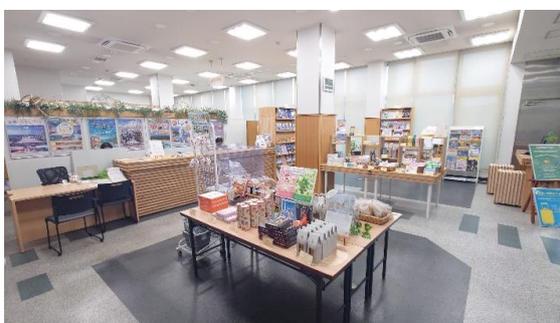
関西万博のスタンプラリーは改めて「リアル」「紙」といったものの魅力を再認識させることになったのではないのでしょうか？これからしばらくは紙のスタンプラリーがブームになるかもしれません。デジタルだとリアルで参加者数を把握したり旅行者の動向が拾えたりといったメリットがあり、ラリーポイントでのメンテナンスもQRコードを貼るだけでほぼフリーなので手軽ではありますが（手軽であるがゆえ参加したいという魅力を感じられない稚拙なラリーも散見されますが...）。それぞれのメリットデメリットを見極め、目的や予算に応じて、効果的な周遊促進だけではなく参加する（集める）という目的で誘客できるようなスタンプラリーを企画してみたいと、コンプリートし切れなかったスタンプ帳を眺めながら思っています。



【トピックス】

●協会事務局・観光案内所をリニューアルいたしました

近鉄鵜方駅改札階にある志摩市観光協会および志摩市観光案内所を9月29日～30日にかけてリニューアルいたしました。2005年4月の志摩市観光協会発足以来の改修となります。案内所はスペースを約1.5倍にしたことで広々とした感じになり、お客様も入りやすくなりました。おみやげコーナーも今後拡充していく予定です。奥の協会事務局もレイアウトを変え、事務机も一新したことで明るい雰囲気になりました。おかげさまで職員も新たな気持ちで下期のスタートを切ることができております。お近くにお越しの際はぜひお立ち寄りください。お待ちしております。



案内所は広～くなりました！



事務局もスッキリ！

●英虞湾サンセット&志摩パールブリッジ・ライトアップクルーズを実施いたしました

10月11日（土）に第44回全国豊かな海づくり大会開催30日前イベントとして志摩大橋（パールブリッジ）のライトアップが実施されるのに合わせ、大会市民会議および志摩市の主催によるイベントとして運航されました（協会では参加者募集および旅行取扱業務を市より受託いたしました）。定員150名に対し600名を超える応募があり抽選で当選者を決めさせていただきました。当日はあいにくの雨でサンセットは見ることができませんでしたが、ライトアップされたパールブリッジを船から見上げることができ、船内では真珠製品が当たる抽選会も実施され、楽しいイベントとなりました。



●「推しの子」の星野アイが志摩へ！？

株式会社KADOKAWAでは人気アニメ「推しの子」の47都道府県をイメージしたキャラクターを日本全国projectとして展開中で、三重県は志摩市が選定され、三重県キャラクター「星野アイ」の等身大パネルが横山園地の「創造の森休憩舎」と「道の駅伊勢志摩」に10月18日（土）から登場します。

協会では10月13日まではバンダイナムコの「アイドルマスター」のデジタルスタンプラリーのスポットとして等身大パ



ネルやポスター設置に協力しており、さらに11月1日からは志摩スペイン村の「周央サンゴ」のイベントも始まります。今やアニメキャラが志摩の賑わいを創出してくれていると言えますね。



新会員ご紹介



今月は新しく入会いただいた会員様はございませんでした。

志摩市観光協会では新会員を絶賛募集中です！
会員のみなさまからもぜひご紹介いただきたく存じます。

ご連絡いただけましたら直ちに担当者が
ご連絡ご訪問させていただきます！

何卒よろしくお願い申し上げます。



志摩市観光協会ニュースレター Vol.10 2025年10月20日発行

編集・発行／一般社団法人志摩市観光協会

〒517-0501 三重県志摩市阿児町鵜方1670-2 近鉄鵜方駅改札階

TEL：0599-46-1112 FAX：0599-43-8321 Mail：info@kanko-shima.com

※記事内容を無断で転載することを禁じます